

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年新年号 新年の抱負



発行人:濱塚有史 編集人:家村知佳 発行所:特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>



年頭所感

盛岡YMCA理事長 石渡隆司

2014年のXmasと2015年の新年のお喜びを申し上げます。

旧年は、国際的にも、国内的にも、気象、政治、経済、社会、教育、福祉などの上で、とりわけ事故や犯罪や対立、格差など問題の多い、困難な時代であったように思われてなりません。しかしよく考えると、そうした人間生活を取り巻く多くの困難は、どんな時代にもあり、また世界のどんな地域からも完全になくなることはないもの、そして人間とその社会につきものの根元的な限界に根差しているとも思われます。実際、旧約聖書を開くと、その大半のページが苦難にあえぐイスラエルの民の嘆きと、神に救いを求める必死の叫びで埋め尽くされていることに驚きを禁じ得ません。

キリストの降誕祭クリスマスは世界の多くの民が、民族や人種など、それぞれの間の多くの違いを超えて、人間が四海同朋の世界を築き、平安に共生していく道を生命を賭して示されたイエス・キリストの誕生日として、世界中が自らの中にある対立や敵意や復讐への芽を摘みとり、平和を誓い、祈る日として、2000年に亘って大切に祝われてきたものです。

また日本の新年は、厳しい冬の寒さに耐える時期から、冬至を過ぎて陽が長くなり始める時季への転換を歓迎し、周辺の自然を取り巻く、野や山や川の風景にも、また雪ノ下になっている土

や草の根にも、どこか少しずつ温もりが戻り、春の回帰を告げる節分を待つ喜びの気持ちと通じているのでしょうか。国内でも熱海のように、1月の中旬から梅祭りが始まるころもありますが、春を待つ心のときめきは、川の瀬音や木や草の芽の僅かな色の変化にも、思わず感嘆してしまう東北の自然に勝るものはないでしょう。正月はその期の到来を待つ喜びの祝いとして、家族や仲間たちで共にお祝いをするのに値するといえましょう。

私はXmasと正月を迎えると、いつも四季の微妙な変化の美しさに恵まれた盛岡の自然と、それとマッチした「盛岡YMCAの使命」を誇りをもって思い返すのです。これからも、皆さん方と共に、この使命を深く胸に刻んで活動を続けていきたいと願って止みません。以下に「使命前文」を記載しておきます。

「私たち盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します」



新年あけましておめでとうございます。

今年も盛岡YMCAは、盛岡YMCAの使命を達成するため

- ① 他者の悲しみを自分のことのように悲しめること
- ② 他者の喜びを自分のことのように喜べること
- ③ 自分のしてほしいことは他者にもしてあげられるようになること

以上の3つの価値を、学童保育、サッカー教室、水泳教室、野外活動、被災地復興支援活動等を通して、子ども、家族、地域に伝えていきます。

新年号は、YMCAの子どもたち、(前潟センター、向中野センター、本町センター)リーダー達に新年の抱負を聞いてみました。



←和川優希君 (大新小学校3年生)
 ★今年頑張ったこと：3年生の漢字を2学期で全部終わらせたこと
 ☆新年の抱負：もっと計算を早くする
 千葉悠星君 (土淵小学校2年生)
 ★今年頑張ったこと：鉄棒の前回り
 ☆新年の抱負：立体的なものを作る！
 (たとえば箱やトリックなど)



←八重樫悠大君 (土淵小4年)
 ☆新年の抱負：低学年、高学年関係なくもっと色々な人と友達になる。



佐藤慎之佑 (土淵小4年) →
 ★今年頑張ったこと：ドッジボール
 ☆来年の抱負：サッカーを頑張りたい！特にリフティング！！



関愛理ちゃん (土淵小学校2年) ↑
 ★今年頑張ったこと：九九・マラソン・50マス計算
 ☆来年の抱負：苦手な算数を頑張る

かわむらゆり
 川村悠莉ちゃん (向中野小1年生) →
 水泳の平泳ぎがうまく泳げるようがんばりたい！



ふじさわはるか
 ↑藤澤春嘉ちゃん (向中野小3年生)
 水泳をぜんぶ、4つのおよぎをおよぐようにしたい。
 さいとうまいか
 齋藤莓夏ちゃん (向中野小3年生)
 ダンスで早く上のチームに上られる様がんばりたい！！
 ごとうはるか
 後藤遥ちゃん (向中野小3年生)
 水泳のバタフライと平泳ぎをうまく泳げるようにしたい！



←吉田うららちゃん (向中野小1年生)
 水泳をがんばりたい！



かなざわあゆむ
 ←金澤涉くん (仁王小3年生)
 バッティングセンターで70~90キロを楽々打てるようになる！

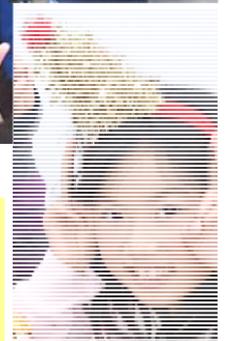
こわたりょうご
 古和田龍吾くん → (仁王小3年生)
 「来年は 早寝早起き がんばるぞ」



あべこうすけ
 阿部孝亮くん (向中野小1年生) のぼりぼうを一番上までがんばりたいです！ →



やまざきしおり
 山崎詩織ちゃん (城南小6年生)
 部活動に積極的に取り組む。 →



たいら
 ←平雪乃ちゃん (向中野小1年生) →
 こうもり (鉄棒) 1ねんせいのあいだでがんばりたいです。

あべみゆ
 ↑阿部実結ちゃん (仁王小5年生)
 低学年のお手本になるような挨拶をする。

さんべ
 三部ひかりちゃん (附属小1年生) →
 早寝早起きをしたいです！



おおつきれな
 ←大槻麗和 (向中野3年生)
 バタフライをがんばりたい。
 あけとひなこ
 明戸日菜子ちゃん
 (向中野3年生)
 えび上がりを一番にやりたい!!



さいとうりお
 齊藤璃音ちゃん
 (向中野小2年生) →3年生のべん
 きょうをぜんぶおぼえたい。



←モモンガ(浜田真美):毎日笑
 顔で過ごす!



ハードル(嶋崎恭子):笑顔溢れる
 素敵な1年に! →



←おいなり(濱塚直樹):あるがま
 まに。



あさり:(安久津里彩):→あっさり
 だけど、熱く! 元気に! パワフル
 に!

おおしいあやの
 大石彩乃ちゃん (向中野小2年生)
 九九をぜんぶ言えるようになりたい。
 てらながねみく
 寺長根未宮ちゃん (向中野小5年生)
 バスケットのベストメンバーに入って、ロング
 シュートをたくさん入れたい!
 たぐちなつき
 田口菜月ちゃん (向中野小2年生) →字を
 もっときれいに書きたい。



←ゴリナ:(武田悠):ゴリゴリ、モ
 テモテ、世界中のアイドルに!



←シロクマ:(家村知佳):何事も
 計画的に



←とーふ:(種市祥子):好きなこ
 とを思いっきりやる!

Gパン:(向平悟):みんな仲良
 ますお:(東海林俊一):積極的に
 チャレンジ ↓



ポリちゃん:(君塚彩):子ども達と鬼
 ごっこできる体力をつける。 →

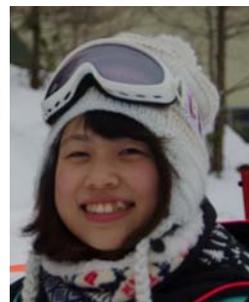


←ひげたまご:(伊藤真太郎):
 何事も実直に!

獅童:(浅沼慧):奥さんと息子
 を大切に! →



←サル:(小川嘉文):たくさ
 ん笑いをとります!



ぱっけ:(加藤瑠奈):一歩ずつ
 確実に成長する。→





宮古ボランティアセンター 12月活動報告



君でいいんだよ
~JUST THE WAY "YOU" ARE ⑦~



みなさんこんにちは。宮古も寒さが増しいよいよ冬本番を迎えようとしております。例年よりも雪も早く、寒さも厳しいように思えます。子どもたちも間もなく冬休みを迎えますが最後まで子どもたちとの関わりを大切にしていきたいと思っています。

さて、12月に入り、仮設での餅つきやミニコンサート、そして、子どもたちの野外活動も寒さの中行うことができました。例年はクリスマスを行いました。今年は焼き板を作りました。板をある程度まで焼き、炭を落として新聞紙で余計な炭を落とし、最後に紙やすりで仕上げです。子どもたちの力ではうまくいかないところはリーダーが手伝い完成です。参加してくれた子どもたち全員と一部のリーダーが子どもたちに炭をつけられ顔や服を真っ黒にしていました。普段は中々出来ないことを体験することが子どもたちにとっては大きな財産となります。一つの体験、経験が子どもたちの成長の証となり、それを見守ることが出来る幸せを感じ取りながら、今後も子どもたちが生き生きと活動に参加できるプログラムを提供していきたいと考えております。これからも宮古の為に、子どもたちの成長の為に活動を続けてまいりますのでよろしくお願いいたします。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 所長 齋藤 勉

☆ぷらいむ・たいむ本町校クリスマス



12月24日(水)クリスマス・イブの午後、ぷらいむ・たいむ本町校では賑やかにクリスマスパーティが行われました。今回のクリスマスパーティは小グループに分かれてクリスマスケーキを作りました。ホットケーキを焼き、クリームや果物やお菓子上でデコレーションを施しました。基本的な部分の説明をしたくらいで、あとはすべて子どもたちに任せ、思い思いのケーキを作ってもらいました。個性がはっきりと表れ、目でも楽しいケーキが出来上がりました。男の子も女の子も低学年も高学年も、慎重に材料を計量していたり、ホットケーキを焼くときにハラハラしながら裏返したり、あまだこうだと話し合いながらデコレーションしたり、とても楽しそうに取り組んでいました。

そして、クリスマスらしくプレゼント交換しました。それからケーキを食べて、早速もらったプレゼントで遊んでいる子もいました。いつも一緒の児童の仲間とワイワイ過ごせる時間はとても安心して、楽しいものだと思えました。

本町校担当 家村



☆ 表紙の写真から

12月20日、21日と宮古の高校生のジュニアリーダートレーニングが八幡平で行われました。15名の高校生は初めてのスキーでも全員リフトに乗ることができました。

何の為に生きて何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ



新年明けましておめでとうございます。2015年はアンパンマンのテーマから始まります。何気なく聞き流していましたが、実に深遠な問いかけを作者のやなせ たかしさんはサラリと社会に発して

いたんですね。

さて、時は前後しますが、こうした問いかけに応えるヒントを一人の方の出会いを通して与えられました。

みなさんは、ハンセン病という病気をご存知ですか？ 病気からくる外的変容により、長い人類の歴史の中で多くの差別と偏見を受けてきた病気です。20年前に富士山のふもとにある神山復生園を訪問したことがあります。この病気は、感染力も非常に弱く、抗生物質の開発により根治されるようになりました。しかし、そこで過ごされている方は差別と偏見のため、一度は社会に復帰をはたしたけれど、職場を解雇される等して園に戻ってこられた方がほとんどです。

その中の一人、外山富士雄さんにお会いし、お話を伺いました。外山さんが発病したのは、小学生の頃、指にできた発疹をお母さんがひどく心配していたのを子ども心に憶えていたそうです。その後、白衣を着た大人の方がやってきて白い粉を家中に撒き散らし、その日以来、外山さんは、親、兄弟と別れ一度も会っていないとのことでした。

外山さんは、詩人として暮らしていました。6畳のきちんと整理された部屋の中で、ご自身の歩んできた人生を振り返り、これからの社会や次の世代に希望を託して、試作に取り組んでおられました。私たちの想像もできない苦難を乗り越えてこられた外山さんの表情は、とても自信に満ちてそしておだやかでした。

両手の譜(うた)

外山 富士雄

右手は父ちゃん 左手は母ちゃん
…両手合わせて僕になるのや
父ちゃんの手はごつい。僕の頭つかんで動きはらへん。
焼きいもの皮むく母ちゃんの手は短い指やった。
小学5年春 山の療養所に入る朝
母ちゃんがそっと握らせてくれはった五〇銭はぬくうぬれとった。
そして…四〇年
父ちゃんも母ちゃんも死んでしもた。
五〇銭ものうなっただけ
母ちゃんの手はぬくもりはおぼえとる。
父ちゃんは右の手 母ちゃんは左の手
…両手合わせて僕いきてるねん。

盛岡YMCA総主事 濱塚有史